

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



# 茅小だより 11月号

令和4年10月31日（月）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校  
校長 吉野 利彦

## 全国学力・学習状況調査 の結果をお知らせします

紅葉が一段と色を増す季節となりましたが、保護者や地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

後期がスタートして2週間余りが経過いたしました。学校では、教職員間で授業を公開し合い、協議会を開催しながら、子どもたちの学びの質を高めるための授業研究に重点的に取り組んでいるところです。

さて、4月19日（火）に6年生が実施した「令和4年度 全国学力・学習状況調査」の本校の結果を分析いたしましたので、概要をご報告させていただきます。

### 1 教科に関する調査における本校児童の傾向

#### (1) 国語

- ・全設問に対する平均正答率は、全国の平均正答率よりやや高い結果となりました。
- ・個別の設問では、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉える問題や、登場人物の相互関係について、描写を基に捉える問題の正答率が高かったです。
- ・一方、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける問題や、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える問題の正答率が低かったです。

#### (2) 算数

- ・全設問に対する平均正答率は、全国の平均正答率よりやや高い結果となりました。
- ・個別の設問では、被乗数に空位のある整数の乗法の計算をする問題や、図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について考える問題の正答率が高かったです。
- ・一方、数量が変わっても割合は変わらないことを捉える問題や、示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する問題の正答率が低かったです。

### (3) 理科

- 全設問に対する平均正答率は、全国の平均正答率よりやや高い結果となりました。
- 個別の設問では、問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつ問題や、観察で得た結果を、問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつ問題の正答率が高かったです。
- 一方で、日光は直進することを捉える問題や、実験で得た結果を、問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する問題の正答率が低かったです。

## 2 教科に関する調査から見えてきた課題の改善に向けて

### (1) 国語

学習指導要領の領域では、思考力・判断力・表現力等を問う「書くこと」に関する設問の正答率が最も低かったことから、読み手に自分の考えを分かりやすく伝えるための文章の書き方や整え方など、文章力・校正力を高める授業づくりについて、研究を深めていく必要があると考えています。

### (2) 算数

学習指導要領の領域では、「数と計算」や「変化と関係」に関する設問の中で、求め方や理由を記述する設問の正答率が低かったことから、習得した知識を活用しながら、自分の考え方を、言葉や式を使って書いたり説明したりする活動を重視した授業づくりを進めていく必要があると考えています。

### (3) 理科

理科については、3年ごとの出題となります。今回の調査では、知識・技能を問う設問の正答率が低かったことから、基本的な知識を確実に習得できるよう、観察や実験などの活動を大切にし、理科への興味・関心、学習意欲を高める授業づくりについて、研究を深めていく必要があると考えています。

## 3 児童質問紙調査における本校児童の傾向

- ：肯定的な回答の割合が80%以上のもの
- △：肯定的な回答の割合が50%以上80%未満のもの
- ▲：肯定的な回答の割合が50%未満のもの

### (1) 家庭生活の状況や地域に関すること

- 朝食を毎日食べている。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。

- △学校の授業時間以外に、平日、1時間以上勉強している。
- △学校の授業時間以外に、平日、30分以上読書をしている。
- ▲地域の行事に参加している。(※コロナ禍で参加できなかった実態があります。)
- △地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある。

(2) 学校生活に関すること

- 学校に行くのが楽しい。
- 自分で決めたことは、やり遂げるようにしている。
- △難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
- △困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できる。

(3) 教科に関すること

- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- △国語の勉強が好きである。
- 国語の勉強は大切だと思う。
- 国語の授業の内容はよく分かる。
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- △算数の勉強が好きである。
- 算数の勉強は大切だと思う。
- 算数の授業の内容はよく分かる。
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。
- 理科の勉強が好きである。
- 理科の勉強は大切だと思う。
- 理科の授業の内容はよく分かる。
- 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- △理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。

(4) 自己肯定感・規範意識・将来に関すること

- 自分には、よいところがあると思っている。
- △携帯電話やスマートフォン等の使い方について、家の人と約束したことを守っている。  
(※平日に、2時間以上ゲームをしている児童が半数近くいます。)
- 将来の夢や目標を持っている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている。

以上

本調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことから、本校の取組の成果や課題の全てを映し出しているものではありません。しかしながら、本調査結果により、これまでの教育活動の成果とともに、様々な課題も浮き彫りになってまいりました。

今後も、本校の教育活動を全教職員で丁寧に検証し、一人一人の子どもの学習改善や望ましい生活習慣の確立につなげていかれるよう努めてまいりますので、保護者や地域の皆様方のご理解・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。